

【専門科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護支援論Ⅱ		選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
伊丹 幸子	304	s.itami	月曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	地域で生活する長期慢性疾患患者や感染症、難病、障がい者など、健康課題を持つ人々への問題解決過程における保健・福祉サービスなどの資源提供活動や地域ケア体制づくりの実際を学び、健康課題別の公衆衛生看護活動とその具体的な展開方法を修得する。また、学校保健活動、産業保健活動のしくみとその活動を学ぶ。さらに地域保健、地域包括支援センター、学校保健、産業保健の諸活動における多職種連携について理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	人間の心身の発達段階、看護活動に関連する関係法規等についてよく復習しておくこと。また、人体構造機能学や疾病治療論の知識を整理しつつ授業に臨んでほしい。				
教科書	最新公衆衛生看護学 第3版 2023年版 総論、各論1、2 編/宮崎美砂子ほか/日本看護協会出版ワークブック 地域/公衆衛生看護活動事例演習/編：牛尾裕子、佐藤紀子、田村須賀子				
参考書	国民衛生の動向 2023/2024 公衆衛生協会 看護法令要覧/日本看護協会出版会/2017				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	発達段階に応じた公衆衛生看護活動の内容とその実践方法を述べられる。		NS(1)～(5)		
②	健康課題別の公衆衛生看護活動の内容とその実践方法を述べられる。		NS(1)～(5)		
③	産業保健、学校保健分野の看護活動の特徴と展開方法を説明できる。		NS(1)～(5)		
④	公衆衛生看護活動を法令や制度、社会資源、各理論と関連させて説明できる。		NS(1)～(5)		
⑤	保健師活動に必要な対人援助の姿勢を学ぶ。		NS(2)～(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	保健師活動指針について	講義・演習	保健師活動指針を読み、所属別の保健師の役割について予習する。	4	
2	母子保健体系と保健師の役割	講義・演習	国民衛生の動向の母子保健に関連する衛生統計(出生、死亡、死因等)を調べ、また、母子保健対策について読んでおく。	4	
3	母子福祉活動の実践(虐待予防・子供の貧困対策)	講義・演習	国民衛生の動向の成人保健に関連する衛生統計や保健対策(がん・生活習慣病等)を読んでおく。	4	
4	成人期の保健対策と保健師の役割	講義・演習	国民衛生の動向の高齢者保健福祉・介護予防に関連する衛生統計や対策を読んでおく。	4	
5	生活習慣病予防活動(がん・糖尿病・CKD対策)	講義・演習	先天性の障害、中途障害の受傷経過について調べておく。	4	
6	高齢者保健福祉対策と保健師活動	講義・演習	ノーマリゼーション、生活機能分類について調べておく。	4	
7	介護予防活動と保健師の役割(地域づくり)	講義・演習	罹患者の多い難病について病態を調べておく。	4	
8	障害児(者)保健福祉対策と保健師の役割	講義・演習	主な感染症とその病態について復習しておく。	4	
9	精神保健福祉対策と保健師の役割	講義・演習	結核、AIDSについて調べておく。	4	
10	難病保健福祉対策と保健師活動	講義・演習	学校保健の特徴について、整理する。	4	
11	感染症予防の体系と保健師活動	講義・演習	産業保健の特徴について、整理する。	4	
12	感染症対策と保健師活動(結核・エイズ等)	講義・演習	これまでの授業を振り返り、疑問点、学習課題を明らかにする。	4	
13	学校保健活動	講義・演習		4	
14	産業保健活動	講義・演習		4	
15	支援論ⅠⅡのまとめ	グループワーク・プレゼンテーション		4	
試	定期試験				

【専門科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	30	10	100
	思考・推論・創造する力	40	0	0	10	0	50
	協働性・リーダーシップ	10	0	0	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	10	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	10	0	20
		評価のポイント					フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	定期試験：筆記試験とする。また、問題は保健師国家試験出題基準を含む。				解答の解説をする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①	✓	保健師活動についてまとめる。				後日コメントして返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①	✓	出席日数と課題提出等総合的に評価する。出席日数と日々の受講態度、演習等を総合的に評価する。				問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の 実務経験	保健師として山梨県に35年勤務し、県職保健師として県庁、保健所、児童相談所、市町村保健師業務を経験している。						
実践的授業の内容	保健師・市町村における行政保健師活動の実務経験を元に内容を構築し、公衆衛生看護について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回対面授業に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はしないよう心がけること。 ・学生の理解度に応じ、対面授業の速度や順番を調整する可能性がある。 ・教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 ・状況により Teams を使った両方向型授業を実施する場合は通信容量無制限の Wifi 環境を推奨する。 ・本科目は、保健師課程選抜者のみ履修可能である。 						